

基準 4 学生の受入

(1) 観点ごとの分析

観点 4-1-①: 教育の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、学校の教職員に周知されているか。また、将来の学生を含め社会に理解されやすい形で公表されているか。

（観点に係る状況）

本校の教育の目的に沿って、準学士課程（編入学を含む）及び専攻科課程への入学者選抜に対する入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を明確に定めており、学校総覧に理解されやすい平易な言葉で明記されている（資料 4-1-①-1～2）。本校教職員への入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）の周知は、学校総覧の配布によって行っている。教職員に対しては、アンケート調査を実施して周知状況を把握しているが、約 8 割が「知っている」と回答していることから、周知レベルは良好と言える（資料 4-1-①-3～4）。

将来の学生を含めた社会に対しては、学校説明会、入試説明会、中学校訪問、中学生一日体験入学等で学校総覧や学生募集要項（資料 4-1-①-5）を配布し、公表し広く周知を図っている（資料 4-1-①-6）。また、高等学校からの編入学についても、編入学生募集要項に入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明記されている（資料 4-1-①-7）。更に、本校ウェブページにも入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を掲載し、公表している（資料 4-1-①-8）。

資料 4-1-①-1

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本 科

1. 技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者への夢を抱いている人
2. 学習意欲が高く、数学、理科、国語、英語の基礎力が備わっている人
3. 自分の頭や手を使って「ものづくり」をすることが好きな人
4. 学校の「基本教育目標」を理解し、目標に向かって粘り強く積極的に行動できる人

（出典：平成 25 年度 学校総覧，p. 2）

資料 4-1-①-2

専攻科

1. 科学技術への関心が高く、研究に対して意欲がある人
2. 発想に独自性があり、チャレンジ精神に富んだ人
3. 技術や科学の専門基礎力を有し、より高度で実践的な技術の修得を目指す人

（出典：平成 25 年度 学校総覧，p. 2）

資料 4－1－①－3

教職員アンケート調査用紙（アドミッション・ポリシー周知状況）

★マークのしかた



鶴岡高専の教育目標等に関する教職員用アンケート（回答用紙）

以下の項目について、考えをお聞かせ下さい。

〔記入上の注意事項〕 ・該当するマーク部分をHB以上の鉛筆または黒ペンで濃く染めてください。

(1) 職種を教えてください。

☐ 教員
 ☐ 職員

(2) 所属学科 教員の方のみお答えください。

☐ 総合科学科
 ☐ 機械工学科
 ☐ 電気電子工学科
 ☐ 制御情報工学科
 ☐ 物質工学科

(3) 所属課 職員の方のみお答えください

☐ 学生課
 ☐ 総務課
 ☐ 企画室
 ☐ 教育研究技術支援センター
 ☐ その他

(4) 本校の校訓を知っていますか。

☐ よく知っている
 ☐ ある程度知っている
 ☐ あまり知らない
 ☐ まったく知らない

(5) 本校の基本教育目標を知っていますか。

☐ よく知っている
 ☐ ある程度知っている
 ☐ あまり知らない
 ☐ まったく知らない

(6) 本校の養成すべき人材像を知っていますか。

☐ よく知っている
 ☐ ある程度知っている
 ☐ あまり知らない
 ☐ まったく知らない

(7) 準学士課程の卒業時に身に付けるべき能力（本科の学習・教育到達目標）を知っていますか。

☐ よく知っている
 ☐ ある程度知っている
 ☐ あまり知らない
 ☐ まったく知らない

(8) 専攻科課程の修了時に身に付けるべき能力（専攻科の学習・教育到達目標）を知っていますか。

☐ よく知っている
 ☐ ある程度知っている
 ☐ あまり知らない
 ☐ まったく知らない

(9) 準学士課程のアドミッション・ポリシー

☐ よく知っている
 ☐ ある程度知っている
 ☐ あまり知らない
 ☐ まったく知らない

(10) 専攻科課程のアドミッション・ポリシー

☐ よく知っている
 ☐ ある程度知っている
 ☐ あまり知らない
 ☐ まったく知らない

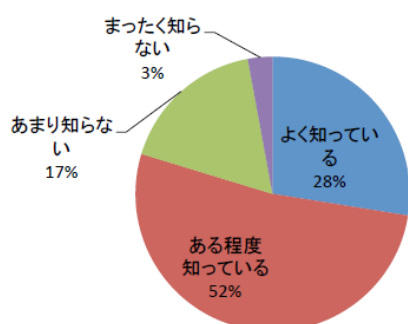
アンケートにご協力ありがとうございました。

(出典：FD 委員会資料)

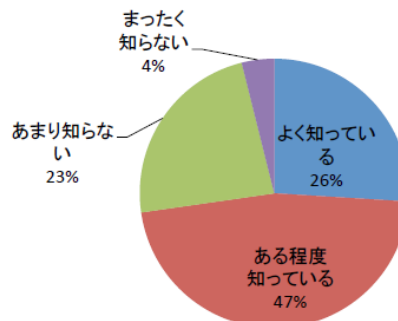
資料 4－1－①－4

教職員アンケート調査結果（アドミッション・ポリシー周知状況）

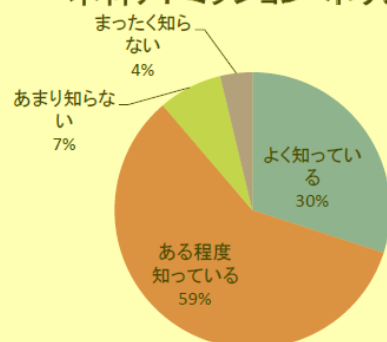
本科の学習・教育到達目標



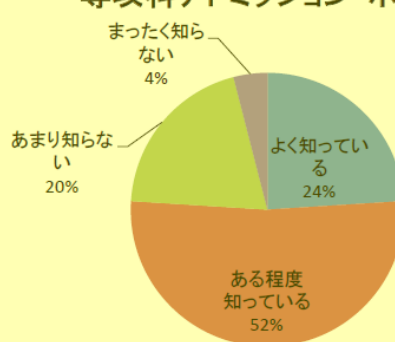
専攻科の学習・教育到達目標



本科アドミッション・ポリシー



専攻科アドミッション・ポリシー



（出典：FD 委員会資料）

資料 4－1－①－5

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 技術や科学に関心があり，社会に貢献する技術者への夢を抱いている人
2. 学習意欲が高く，数学，理科，国語，英語の基礎力が備わっている人
3. 自分の頭や手を使って「ものづくり」をすることが好きな人
4. 学校の「基本教育目標」を理解し，目標に向かって粘り強く積極的に行動できる人

（出典：平成 25 年度 学生募集要項，p. 1）

資料 4 - 1 - ① - 6

学校総覧・学生募集要項配布先一覧

学生募集要項等送付先内訳

・ 文部科学省高等教育局専門教育課長	
・ 国立高等専門学校機構本部事務局学務課長	
・ // 国際交流室	
・ 山形県教育委員会教育長	
・ 山形県内各市町村教育委員会教育長（35市町村）	
・ 山形県内各教育事務所長（4）	
学生募集要項各1部	43部
・ 山形県内中学校（108）	
学生募集要項	502部
学生募集・説明会ポスター	108
学生募集・説明会チラシ	502
パンフ	502
奨学金チラシ	502
・ 県外中学校（90）	
青森4（弘前四，浪打，田名部，弘前南），秋田33（別紙のとおり），福島5（福大附属，信陵，西信，玉川，会北），宮城3（松陵，仙前一，しらかし台），新潟36（別紙のとおり），茨城1（江戸崎），群馬1（草津），神奈川2（寺尾，旭陵），栃木1（氏家），埼玉1（両新田），東京2（西早稲田，世田谷），福岡1（天拝）	
＊ 秋田新潟以外の地域については，過去に志願者のあった学校に送付している。	
学生募集要項	180部
学生募集・説明会ポスター	90
学生募集・説明会チラシ	180
パンフ	180
合 計	
学生募集要項	725部
学生募集・説明会ポスター	198部
学生募集・説明会チラシ	682部
パンフ	682部
奨学金チラシ	502部

資料 4 - 1 - ① - 6 続き

学校総覧・学生募集要項配布先一覧

チラシ: 学生募集・学校説明会

学生募集・学校説明会ポスターも各1部添付

市町村	中学校	人数	要項	パンフ	チラシ	要学	市町村	中学校	人数	要項	パンフ	チラシ	要学	市町村	中学校	人数	要項	パンフ	チラシ	要学	市町村	中学校	人数	要項	パンフ	チラシ	要学
山形市	第一	167	5	5	5	5	西川町	河北	162	3	3	3	3	最上郡	鮭川	42	2	2	2	2	西小国	小玉川	10	2	2	2	2
	第二	200	3	3	3	3	山形市	西川	53	2	2	2	2	鮭川	大豊	161	3	3	3	3	白鷹町	西	65	3	3	3	3
	第三	211	3	3	3	3	山形市	朝日	55	4	4	4	4	鮭川	角川	6	2	2	2	2	飯豊町	飯豊	80	3	3	3	3
	第四	259	5	5	5	5	山形市	大江	70	3	3	3	3	鮭川	戸沢	40	2	2	2	2	中津川	中津川	3	2	2	2	2
	第五	205	5	5	5	5	村山市	村山	155	5	5	5	5	米沢市	第一	109	3	3	3	3	鶴岡市	第一	245	25	25	25	25
	第六	264	5	5	5	5	村山市	村山	90	5	5	5	5	米沢市	第二	161	3	3	3	3	鶴岡市	第二	186	20	20	20	20
	第七	136	3	3	3	3	東根市	第一	172	3	3	3	3	米沢市	第三	128	3	3	3	3	鶴岡市	第三	241	25	25	25	25
	第八	47	3	3	3	3	東根市	第二	57	3	3	3	3	米沢市	第四	168	3	3	3	3	鶴岡市	第四	130	20	20	20	20
	第九	110	3	3	3	3	東根市	第三	42	4	4	4	4	米沢市	第五	101	3	3	3	3	鶴岡市	第五	120	10	10	10	10
	第十	230	3	3	3	3	東根市	第四	30	3	3	3	3	米沢市	第六	43	3	3	3	3	鶴岡市	第六	46	5	5	5	5
	第十一	110	3	3	3	3	東根市	第五	136	2	2	2	2	米沢市	第七	101	3	3	3	3	鶴岡市	第七	116	8	8	8	8
	第十二	86	2	2	2	2	東根市	第六	39	3	3	3	3	米沢市	第八	54	3	3	3	3	鶴岡市	第八	83	10	10	10	10
	第十三	10	2	2	2	2	東根市	第七	76	3	3	3	3	米沢市	第九	80	3	3	3	3	鶴岡市	第九	75	10	10	10	10
	第十四	154	3	3	3	3	東根市	第八	19	2	2	2	2	米沢市	第十	129	3	3	3	3	鶴岡市	第十	50	5	5	5	5
山形市	第十五	3	2	2	2	2	東根市	第九	20	2	2	2	2	米沢市	第十一	115	3	3	3	3	鶴岡市	第十一	74	10	10	10	10
	第十六	159	2	2	2	2	東根市	第十	20	2	2	2	2	米沢市	第十二	91	3	3	3	3	鶴岡市	第十二	59	3	3	3	3
	第十七	18	2	2	2	2	東根市	第十一	67	2	2	2	2	米沢市	第十三	43	3	3	3	3	鶴岡市	第十三	169	10	10	10	10
	第十八	171	2	2	2	2	東根市	第十二	82	5	5	5	5	東高島町	第一	91	3	3	3	3	酒田	第一	181	10	10	10	10
	第十九	118	3	3	3	3	東根市	第十三	85	5	5	5	5	東高島町	第二	47	3	3	3	3	酒田	第二	85	10	10	10	10
	第二十	28	2	2	2	2	東根市	第十四	134	5	5	5	5	東高島町	第三	68	3	3	3	3	酒田	第三	193	15	15	15	15
	第二十一	198	3	3	3	3	東根市	第十五	50	3	3	3	3	東高島町	第四	137	3	3	3	3	酒田	第四	193	10	10	10	10
	第二十二	107	3	3	3	3	東根市	第十六	14	3	3	3	3	東高島町	第五	107	4	4	4	4	酒田	第五	162	10	10	10	10
	第二十三	156	3	3	3	3	東根市	第十七	60	2	2	2	2	東高島町	第六	157	4	4	4	4	酒田	第六	102	5	5	5	5
	第二十四	153	3	3	3	3	東根市	第十八	82	3	3	3	3	東高島町	第七	107	4	4	4	4	酒田	第七	46	4	4	4	4
山形市	第二十五	133	3	3	3	3	東根市	第十九	49	3	3	3	3	東高島町	第八	0	2	2	2	2	酒田	第八	57	4	4	4	4
	第二十六	3	2	2	2	2	東根市	第二十	52	3	3	3	3	東高島町	第九	63	3	3	3	3	酒田	第九	141	4	4	4	4
	第二十七	128	3	3	3	3	東根市	第二十一	16	2	2	2	2	東高島町	第十	0	2	2	2	2	酒田	第十	4	4	4	4	4
	第二十八	145	5	5	5	5	東根市	第二十二	22	2	2	2	2	東高島町	第十一	63	3	3	3	3	酒田	第十一	4	4	4	4	4
	第二十九	214	5	5	5	5	東根市	第二十三	22	2	2	2	2	東高島町	第十二	63	3	3	3	3	酒田	第十二	4	4	4	4	4
	第三十	55	3	3	3	3	東根市	第二十四	22	2	2	2	2	東高島町	第十三	63	3	3	3	3	酒田	第十三	4	4	4	4	4
	第三十一	145	5	5	5	5	東根市	第二十五	22	2	2	2	2	東高島町	第十四	63	3	3	3	3	酒田	第十四	4	4	4	4	4
	第三十二	214	5	5	5	5	東根市	第二十六	22	2	2	2	2	東高島町	第十五	63	3	3	3	3	酒田	第十五	4	4	4	4	4
	第三十三	55	3	3	3	3	東根市	第二十七	22	2	2	2	2	東高島町	第十六	63	3	3	3	3	酒田	第十六	4	4	4	4	4
	第三十四	145	5	5	5	5	東根市	第二十八	22	2	2	2	2	東高島町	第十七	63	3	3	3	3	酒田	第十七	4	4	4	4	4
	第三十五	214	5	5	5	5	東根市	第二十九	22	2	2	2	2	東高島町	第十八	63	3	3	3	3	酒田	第十八	4	4	4	4	4
	第三十六	55	3	3	3	3	東根市	第三十	22	2	2	2	2	東高島町	第十九	63	3	3	3	3	酒田	第十九	4	4	4	4	4
	第三十七	145	5	5	5	5	東根市	第三十一	22	2	2	2	2	東高島町	第二十	63	3	3	3	3	酒田	第二十	4	4	4	4	4
	第三十八	214	5	5	5	5	東根市	第三十二	22	2	2	2	2	東高島町	第二十一	63	3	3	3	3	酒田	第二十一	4	4	4	4	4
	第三十九	55	3	3	3	3	東根市	第三十三	22	2	2	2	2	東高島町	第二十二	63	3	3	3	3	酒田	第二十二	4	4	4	4	4
小計		3978	94	94	94	94	小計		1889	85	85	85	85	小計		1990	67	67	67	67	小計		3062	256	256	256	256
																							10919	502	502	502	502

* 要項等の配付部数は、過去3年ほどの志願者数により決めている。

資料 4 - 1 - ① - 6 続き

学校総覧・学生募集要項配布先一覧

平成 26 年度 入 試 説 明 会

対象: 中学校教員

日 時	開催地区	会 場	本校出席者	備 考
9月 26日(木)	受付13:15 開会13:30 閉会15:00	新庄市 新庄市生涯学習センター 2F 「わくわく新庄」会議室 新庄市下金沢町15-11 Tel.0233-23-0197	教務主事 課長補佐	
9月 27日(金)	受付13:15 開会13:30 閉会15:00	山形市 山形むらきさわビル1F ゆうキャンパス・ステーション 山形市香澄町1-3-15 Tel.023-628-4842	教務主事 教務係長	
10月 3日(木)	受付13:15 開会13:30 閉会15:00	米沢市 置賜総合文化センター 2F 201研修室 米沢市金池3-1-14 Tel.0238-21-6111	教務主事 課長補佐	
10月 10日(木)	受付13:15 開会13:30 閉会15:00	鶴岡市 鶴岡工業高等専門学校 大会議室 鶴岡市井岡字沢田104 Tel.0235-25-9024	校長, 教務主事 部長, 学生課長 補佐, 教務係長	

平成 25 年度 学 校 説 明 会

対象: 中学生及び保護者

日 時	開催地区	会 場	本校出席者	備 考
10月 13日(日)	受付13:15 開会13:30 閉会15:00	山形市 山形むらきさわビル1F ゆうキャンパス・ステーション 山形市香澄町1-3-15 Tel.023-628-4842	寮務主事 教務係長	
10月 20日(日)	受付 9:45 開会10:00 閉会11:30	新庄市 新庄市生涯学習センター 2F 「わくわく新庄」音楽室 新庄市下金沢町15-11 Tel.0233-23-0197	窪田教授 課長補佐	運営会議委員
10月 20日(日)	受付13:15 開会13:30 閉会15:00	米沢市 置賜総合文化センター 3F 第3会議室 米沢市金池3-1-14 Tel.0238-21-6111	学生主事 成田係員	
11月 10日(日)	受付 9:45 開会10:00 閉会11:30	鶴岡市 鶴岡工業高等専門学校 合同講義室 鶴岡市井岡字沢田104 Tel.0235-25-9024	瀬川教授 学生課長 課長補佐	運営会議委員
11月 17日(日)	受付 9:45 開会10:00 閉会11:30	酒田市 酒田市総合文化センター 3F 310中会議室 酒田市中央西町2-59 Tel.0234-24-2991	渡部教授 学生課長 課長補佐	運営会議委員
11月 30日(土)	受付 9:45 開会10:00 閉会11:30	鶴岡市 鶴岡工業高等専門学校 合同講義室 鶴岡市井岡字沢田104 Tel.0235-25-9024	教務主事 小野係員 課長補佐	

9/12(木)~13(金) 東北地区高専教員研究集会
 10.25(金)~27(日) 50周年記念行事、鶴峰祭
 10.19(土) 4年生保護者会
 10.13(日) ロボコン東北大会(一関)
 未定(第1希望11/5,第2希望10/21)JABEE
 10.31(木)~11.1(金) 認証評価

(出典: 学生課資料)

資料 4-1-①-7

I 入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）

（全学科共通）

1. 技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者への夢を抱いている人
2. 学習意欲が高く、数学、理科、国語、英語の基礎力が備わっている人
3. 自分の頭や手を使って「ものづくり」をすることが好きな人
4. 学校の「基本教育目標」を理解し、目標に向かって粘り強く積極的に行動できる人

（出典：平成 25 年度 編入学生募集要項，p. 1）

資料 4-1-①-8

I 入学者受入方針(アドミSSION・ポリシー)**I. 全学科共通**

- ・ 技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者への夢を抱いている人
- ・ 学習意欲が高く、数学、理科、国語、英語の基礎力が備わっている人
- ・ 自分の頭や手を使って「ものづくり」をすることが好きな人
- ・ 学校の「基本教育目標」を理解し、目標に向かって粘り強く積極的に行動できる人

III. 専攻科

- ・ 科学技術への関心が高く、研究に対して意欲がある人
- ・ 発想に独自性があり、チャレンジ精神に富んだ人
- ・ 技術や科学の専門基礎力を有し、より高度で実践的な技術の修得を目指す人

（出典：本校ウェブページ）

（分析結果とその根拠理由）

本校では、準学士課程（編入学を含む）及び専攻科課程への入学者選抜に対する入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）が明確に定められており、学校総覧、学生募集要項等の資料及び本校ウェブページに明記されている。教職員に対しても各資料を配布し周知を図っており、平成24年度に実施した教職員アンケート調査の結果では、周知レベルは良好である。将来の学生を含めた社会に対しては、学校説明会、入試説明会、中学校訪問、中学生一日体験入学等で前出の資料を配布し、説明している。さらに、本校ウェブページを通じて広く社会に理解されやすい形で公表している。

以上により、教育の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針等の入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）が明確に定められ、学校の教職員に周知されている。また、将来の学生を含め社会に理解されやすい形で公表されている。

観点 4-2-①： 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が適切に実施されているか。

（観点に係る状況）

本校の全ての入学者選抜は、入試委員会が入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づいて作成した「入試業務作業・点検総合マニュアル」（資料 4-2-①-1）に従って進められ、運営会議において合否判定される。

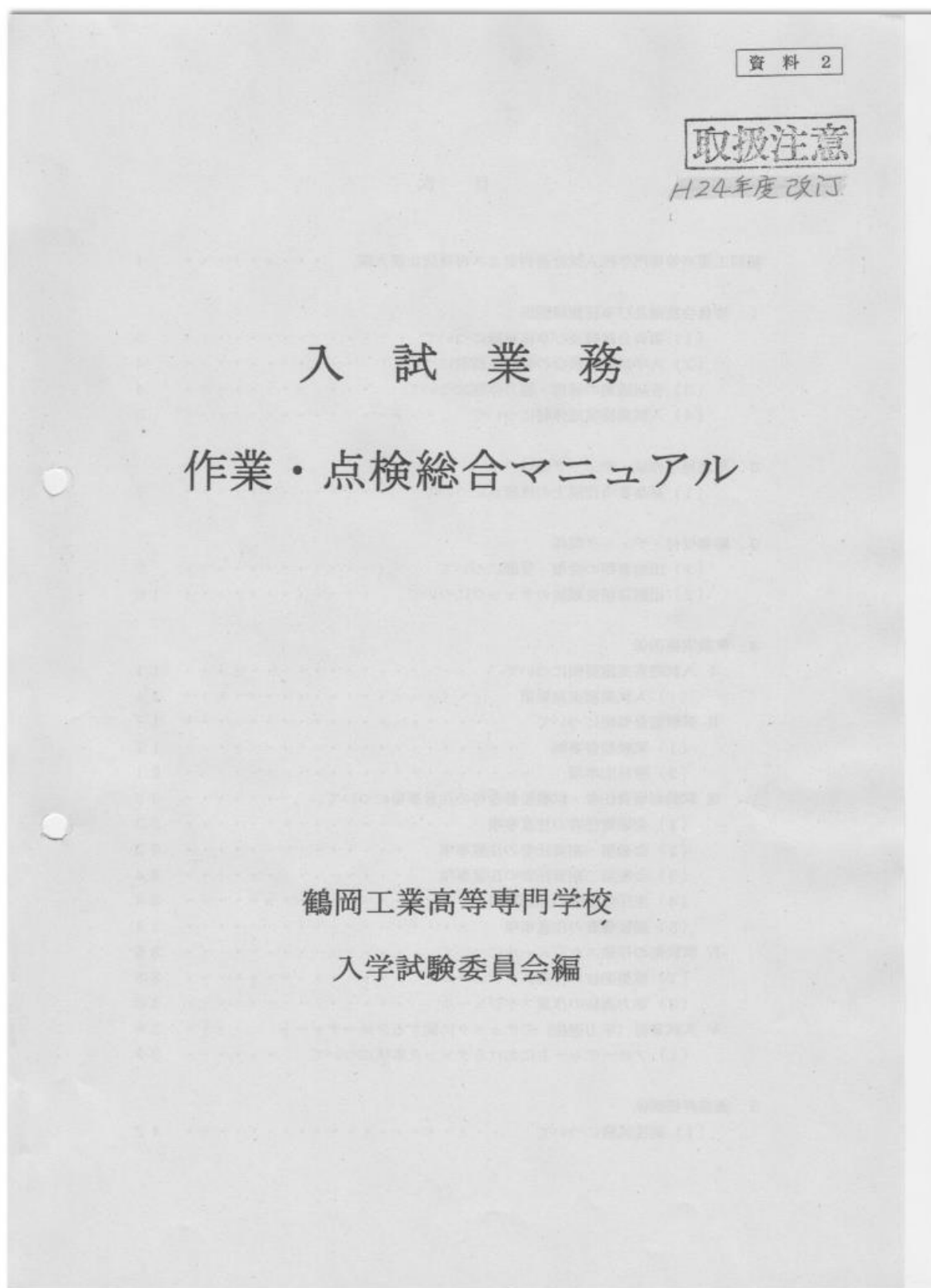
準学士課程の入学者選抜は、「学生募集要項」に従って、推薦による選抜と学力試験による選抜の 2 つの方法で実施している（資料 4-2-①-2）。推薦による選抜は、各学科とも入学定員の 40% 程度の募集人員で、在籍中学校長の推薦書、入学志願者調査書（傾斜配点）、面接試験等を総合して行っている（資料 4-2-①-3～6）。学力試験による選抜は、学力試験及び入学志願者調査書を総合して行っている（資料 4-2-①-7～8）。学力試験は、数学、理科、国語及び英語の 4 教科について筆記試験を実施しており、本校全学科共通の入学者受入方針「学習意欲が高く、数学、理科、国語、英語の基礎力が備わっている人」に沿ったものとなっている（資料 4-1-①-1 参照）。

編入学生の選抜は、「編入学生募集要項」に従って、推薦による選抜と学力試験による選抜の 2 つの方法で実施している（資料 4-2-①-9）。推薦による選抜は、専門科目に関する口頭試問を含む面接試験、入学志願者調査書等を総合して行っている。（資料 4-2-①-10～12）。学力試験による選抜は、学力試験、面接試験、入学志願者調査書を総合して行っている。学力試験は、A方式とB方式が設けられている。A方式は工業高等学校または高等学校の工業に関する学科卒業者を対象とし、英語、数学、専門科目の試験を行い、B方式は高等学校普通科卒業者を対象とし、英語、数学、物理または化学の試験を実施している。面接試験、入学志願者調査書の評価においては、準学士課程の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った評価をして、入学者選抜を適切に実施している（資料 4-2-①-13～14）。

専攻科課程の入学者の選抜は、「専攻科学生募集要項」に従って、推薦による選抜、学力試験による選抜、社会人特別選抜の 3 つの方法で実施している（資料 4-2-①-15）。推薦による選抜は、在籍高等専門学校長の推薦書、入学志願者調査書、面接試験等を総合して行っている（資料 4-2-①-16～17）。学力試験による選抜は、学力試験とTOEICスコア、入学志願者調査書、面接試験等を総合して行っている。学力試験は、数学、専門科目の試験を実施しており、専攻科課程の入学者受入方針に沿って、入学者を適切に選抜している（資料 4-2-①-18～19）。

資料 4－2－①－1

入試業務作業・点検総合マニュアル（抜粋）



目 次

鶴岡工業高等専門学校入試合否判定ミス再発防止策大綱	1
1. 委員会組織及び事務組織関係	
(1) 委員会組織及び事務組織について	3
(2) 入学試験委員会の責任と役割について	4
(3) 各組織間の連携・協力体制について	4
(4) 入試業務実施体制について	5
2. 募集要項作成・チェック関係	
(1) 募集要項作成上の注意点について	7
3. 願書受付・チェック関係	
(1) 出願書類の受領・受理について	9
(2) 出願書類受理後のチェックについて	10
4. 試験実施関係	
I 入試業務実施要領について	11
(1) 入試業務実施要領	11
II 試験監督要領について	17
(1) 試験監督要領	17
(2) 教科別事項	21
III 試験会場責任者・試験監督者等の注意事項について	29
(1) 会場責任者の注意事項	29
(2) 会場第一副責任者の注意事項	29
(3) 会場第二副責任者の注意事項	30
(4) 主任監督者の注意事項	30
(5) 副監督者の注意事項	30
IV 試験毎の作業スケジュールについて	31
(1) 推薦選抜の作業スケジュール	31
(2) 学力選抜の作業スケジュール	32
V 入試業務（学力選抜）のチェックに関するフローチャート	34
(1) フローチャートにおけるチェック事項について	35
5. 面接評価関係	

(出典：学生課資料)

平成25年度 学生募集要項 (抜粋)

平成25年度 学 生 募 集 要 項

I. 入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

1. 技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者への夢を抱いている人
2. 学習意欲が高く、数学、理科、国語、英語の基礎力が備わっている人
3. 自分の頭や手を使って「ものづくり」をすることが好きな人
4. 学校の「基本教育目標」を理解し、目標に向かって粘り強く積極的に行動できる人

II. 募集学科及び募集人員

募 集 学 科	入 学 定 員	推薦入学の募集人員は、各学科とも 入学定員の40%程度
機 械 工 学 科	40名	
電 気 電 子 工 学 科	40名	
制 御 情 報 工 学 科	40名	
物 質 工 学 科	40名	
計	160名	

III. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、「推薦による選抜」と「学力試験による選抜」の二つの方法で行います。

IV. 推薦による入学者の選抜

1. 出 願 資 格

推薦入学を志願できる者は、次の各条件のすべてに該当すると在籍中学校長が認め、推薦した者とします。

- (1) 平成25年3月中学校卒業見込みの者
- (2) 本校への入学意欲がかたく、人物が優れ心身の健全な者
- (3) 「学習の記録」の評定が、次の条件のいずれかを満たす者

	ア	イ
評定方法	中学校における各教科の評定が 5段階の場合	中学校3年間の累積としての各教科の 学習成績の総合評定が10段階 の場合
推薦基準	9教科の1学年から3学年までの 5段階評定合計が98以上の者	9教科の評定の合計が65以上の者

※評定方法が「ア」「イ」以外の場合は、学生課教務係へ問い合わせてください。

資料 4－2－①－3

推薦書の書式

受験番号	※
------	---

推 薦 書

平成 年 月 日

鶴岡工業高等専門学校長 殿

中学校名

校長氏名

印

下記の者は、学業成績、人物ともに優秀であり、貴校において十分な学業を修め得る者と確信しますので推薦いたします。

記

1. 平成 年 月 日 卒業見込み

2. 氏 名

3. 生年月日 平成 年 月 日生

※印欄は記入しないでください。

(出典：学生課資料)

資料 4 - 2 - ① - 4

調査書の書式

平成25年度 鶴岡工業高等専門学校入学志願者調査書

										受験番号	※
評定方法	5段階 10段階	推薦	第1志望 工学科	第2志望 工学科	学力	第1志望 工学科	第2志望 工学科	第3志望 工学科	第4志望 工学科	学力試験 受験地	鶴岡 山形 米沢
ふりがな					性別	現					
氏名					住所						
生年月日		平成 年 月 日生			転入学	平成 年 月 日 卒業見込					
教科 国 語 社 会 数 学 理 科 音 楽 の 美 術 保 健 体 育 技 術 ・ 家 庭 記 録	第3学年の観点別学習状況				各学年の評定			2			
	観点別学習状況				評価			1 2 3			
1	国語への関心・意欲・態度							の総合的な記述			
	話す・聞く能力							学習			
2	書く能力							内容等			
	読む能力							活動の状況			
3	言語についての知識・理解・技能							特別活動等			
	社会的な思考・判断・表現							生徒会活動			
4	資料活用・技能							その他の活動			
	社会的な事象についての知識・理解							4			
5	数学への関心・意欲・態度							の校外活動			
	数学的な見方や考え方							スポーツ活動			
6	数学的な技能							文化活動			
	数量や図形などについての知識・理解							社会活動			
7	自然科学への関心・意欲・態度							ボランティア活動等			
	科学的な思考・表現							5			
8	観察・実験の技能							行動の記録			
	自然事象についての知識・理解							項目			
9	音楽への関心・意欲・態度							行動の状況			
	音楽表現の創意工夫							項目			
10	音楽表現の技能							行動の状況			
	鑑賞の能力							項目			
11	美術への関心・意欲・態度							項目			
	発想や構想の能力							項目			
12	創造的な技能							項目			
	鑑賞の能力							項目			
13	運動や健康・安全への関心・意欲・態度							項目			
	運動や健康・安全についての思考・判断							項目			
14	運動の技能							項目			
	運動や健康・安全についての知識・理解							項目			
15	生活や技術への関心・意欲・態度							項目			
	生活を工夫し創造する能力							項目			
16	生活の技能							項目			
	生活や技術についての知識・理解							項目			
17	コミュニケーションへの関心・意欲・態度							項目			
	外国語表現の能力							項目			
18	外国語理解の能力							項目			
	言語や文化についての知識・理解							項目			
第3学年の評定合計											
19	学年	選択教科	評定	学年	選択教科	評定	7				
							所見				
上記のとおり相違ありません。											
平成 年 月 日											
記載者職氏名 印											
学 校 名 校長名 印											

(出典：学生課資料)

資料 4-2-①-5

準学士課程入学者選抜（推薦）面接評価点集計表

平成 25 年度推薦入学者選抜試験面接評価点集計表

学 科 名	機 械 工 学 科
面接室名	機械第 2 面接室

主任面接担当者
面接担当者
面接担当者

受験番号	志望動機 と 適 性	態 度 と まじめさ	積 極 性 と 意 欲	合 計	備 考
	11	11	11	33	
	11	9	10	30	
	10	12	9	31	
	11	12	12	35	
	11	11	9	31	

- ① 面接評価点集計表には、面接担当者 3 名の評価点の合計を記入してください。
- ② 面接評価点集計表は、面接試験当日の 17 時まで入試委員長に提出してください。

(出典：学生課資料)

資料 4 - 2 - ① - 6

準学士課程入学者選抜（推薦）試験の可否判定

平成24年度第14回運営会議議事要旨(案)

日 時 平成25年1月21日（月） 15:52～16:55
 場 所 大会議室
 出席者 加藤校長、柳本教務主事、江口学生主事、佐藤(浩)寮務主事（兼 G科長代理）、宮崎専攻科長（兼 教育研究技術支援センター長）、佐藤（貴）地域共同テクノセンター長、竹村総合情報センター長（兼 M科長代理）、飯島FD委員会委員長、佐藤(秀) E科長、栗野B科長、吉住 I科長（兼 認証評価対応委員会委員長）、落合事務部長、土門総務課長、黒田学生課長
 欠席者 窪田図書メディアセンター長、白野学生支援センター長、内山国際交流支援室長、澤G科長、本橋M科長、
 陪席者 川上総務課課長補佐（総務担当）、山口総務課課長補佐（財務担当）、鈴木学生課課長補佐

議 題

1. 協議事項

- (1) 平成25年度入学者選抜（推薦）試験可否判定について
 教務主事から、本件について、本会議に先立ち開催された入学試験委員会における審議結果について資料1に基づき説明の後、校長より、次のとおり合格とする旨提案があり、審議の結果、原案どおり64名の合格が了承された。
 なお、資料1は回収された。

（出典：運営会議議事録）

準学士課程入学者学力選抜方法 平成25年度 学生募集要項（抜粋）

V. 学力試験による入学者の選抜

1. 出 願 資 格

- (1) 平成25年3月中学校卒業見込みの者及び中学校を卒業した者
- (2) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
(学校教育法施行規則第95条各号の一に該当する者)

2. 出 願 手 続

(1) 願書受付期間

平成25年2月4日(月)から平成25年2月8日(金)まで

受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

郵送の場合も平成25年2月8日(金)必着とします。

(2) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等は、次のとおりです。

① 入学願書 受験票 写真票	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。 写真は、正面向き上半身無帽（縦5cm×横4cm）で平成24年11月以降に撮影したものを3枚貼ってください。（写真はカラー又は白黒のいずれでも構いません。）
② 調査書	本校所定の用紙（又は同一書式で作成されたものでも構いません。）により、在籍（出身）中学校長が作成し、厳封したもの。
③ 検定料	16,500円 本校所定の振込用紙により振込願います。 出願の際は、振込金受取書を受験票の裏面に必ず貼り付けてください。
④ 受験票 送付用封筒	本校所定の封筒に、出願者の郵便番号、住所（受験票の受け取り先住所）、氏名を正確に記載し、380円分の切手を貼ってください。受験票を中学校で一括して受領する場合は、8ページの「3. 出願に関する留意事項(8)」を参照してください。

注 本校に入学を志願する者で、身体に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願の前に学生課教務係に問い合わせてください。

- (8) 受験票を中学校で一括して受領することを希望する場合は、切手（簡易書留料金を含む。）を貼り、受信先（中学校長あて）を明記した封筒を同封してください。
 なお、この場合、出願者ごとの「受験票送付用封筒」は提出する必要はありません。

4. 出 願 状 況

願書受付期間中、毎日出願状況をホームページで公表します。

○ホームページ URL <http://www.tsuruoka-nct.ac.jp>

5. 受験票の交付

出願手続きを完了した者には、「受験票」を郵送します。

受験票が2月14日(木)までに届かないときは、本校学生課教務係に照会してください。

6. 選 抜 の 方 法

- (1) 入学者の選抜は、学力試験及び調査書を総合判定して行います。
- (2) 学力試験は、理科、英語、数学及び国語の4教科について、筆記試験を行います。

7. 学力試験の日時及び会場

(1) 学力試験日時

平成25年2月24日(日)	時 間 割			
	9:30～10:20	10:40～11:30	11:50～12:40	13:30～14:20
	理 科	英 語	数 学	国 語

（受付時間は、午前8時から午前8時50分まで。ただし、米沢試験場については午前8時30分から午前8時50分まで。）

(2) 学力試験会場

鶴岡試験場	鶴岡工業高等専門学校	鶴岡市井岡字沢田104
山形試験場	あこや会館	山形市松波二丁目8-1
米沢試験場	置賜総合文化センター	米沢市金池3-1-14

（出典：平成25年度 学生募集要項，pp. 6～9）

資料 4 - 2 - ① - 8

準学士課程入学者選抜（学力）試験の合否判定

平成 24 年度第 16 回運営会議議事要旨（案）

日 時 平成 25 年 2 月 28 日（木） 14:34～16:07

場 所 大会議室

出席者 加藤校長、柳本教務主事、江口学生主事、佐藤（浩）寮務主事、宮崎専攻科長（兼 教育研究技術支援センター長）、窪田図書メディアセンター長、白野学生支援センター長、竹村総合情報センター長、内山国際交流支援室長、飯島 F D 委員会委員長、澤 G 科長、本橋 M 科長、佐藤（秀） E 科長、栗野 B 科長、吉住 I 科長（兼 認証評価対応委員会委員長）、落合事務部長、土門総務課長、黒田学生課長、渡部施設委員長

欠席者 佐藤（貴）地域共同テクノセンター長

陪席者 山口総務課課長補佐（財務担当）、鈴木学生課課長補佐

議 題

1. 協議事項

（3）平成 25 年度入学者選抜（学力）試験の合否判定について

教務主事から、本件について、去る 2 月 24 日（日）に実施した平成 25 年度入学者選抜（学力）試験の合否判定について、昨日開催した入学試験委員会における審議の結果、以下の受験番号の者を合格候補者及び補欠合格候補者とした旨、資料 2 に基づき説明があった。

次いで、校長から、以下のとおり入学試験委員会で決定した候補者 96 名を合格とし、5 名を補欠合格する旨提案があり、審議の結果、了承された。

（出典：運営会議議事録）

平成25年度 準学士課程編入学生募集要項（抜粋）

平成25年度 編入学生募集要項

I 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

（全学科共通）

1. 技術や科学に関心があり，社会に貢献する技術者への夢を抱いている人
2. 学習意欲が高く，数学，理科，国語，英語の基礎力が備わっている人
3. 自分の頭や手を使って「ものづくり」をすることが好きな人
4. 学校の「基本教育目標」を理解し，目標に向かって粘り強く積極的に行動できる人

（各 学 科）

機械工学科

- ・機械の分解，組立，改良が好きな人
- ・ものづくりの技術を習得し，良い製品を作りたい人
- ・コンピュータを使って複雑な機械を設計したい人

電気電子工学科

- ・電気製品のしくみや動作の原理に関心があり，電子工作が好きな人
- ・コンピュータが好きで，操作とそのしくみやプログラムに関心のある人
- ・発電の原理やモータに関心があり，太陽光発電や風力発電などのクリーンなエネルギーの有効利用を考えたい人

制御情報工学科

- ・メカトロニクス，ロボットおよびものづくり技術などに興味を持つ人
- ・機械，電気，制御，コンピュータなど，様々な技術を幅広く学習したい人
- ・コンピュータやインターネットの原理や利用に興味のある人

物質工学科

- ・広く化学現象や生命現象に興味・関心があり，身の回りにある物質の性質や働きを学びたい人
- ・実験が大好きで，疑問もその答えも自ら見つけようとする人
- ・資源やエネルギーに関心があり，人間と生物と環境が調和した豊かな社会づくりに貢献したい人

II 募集学科，募集人員及び編入学年

募 集 学 科	募 集 人 員	編 入 学 年
機 械 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
電 気 電 子 工 学 科		
制 御 情 報 工 学 科		
物 質 工 学 科		

Ⅲ 選抜方法及び受験対象者

1 推薦による選抜（この要項のⅥを参照）

受験対象者：工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科（対応学科については、下記3の表の本校募集学科との対応学科を参照のこと）を平成25年3月卒業見込みの者が対象となります。

2 学力試験による選抜（この要項のⅦを参照）

受験対象者：A方式とB方式の2つの方式があります。

A方式：工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科（対応学科については、下記3の表の本校募集学科との対応学科を参照のこと）を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者が対象となります。

B方式：高等学校の普通科等を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者又はA方式の受験を希望しない者が対象となります。

3 本校募集学科との対応学科

本校募集学科	対 応 学 科
機 械 工 学 科	機械科、機械システム科、電子機械科、生産システム科等
電気電子工学科	電気科、電子科、電子システム科、電子制御科、電子工学科等
制御情報工学科	電子機械科、機械システム科、電子システム科、電子制御科、機械科 生産システム科、情報技術科、情報機械科、情報システム科 情報通信システム科等
物 質 工 学 科	工業化学科、化学工学科、素材工学科、化学技術科、環境システム科 生物環境科等

対応表にない学科については、本校学生課教務係（TEL 0235-25-9024）にお問い合わせください。

Ⅳ 選抜日程

選 抜 区 分	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
推 薦 選 抜	平成24年7月17日（火） ～7月23日（月）	平成24年8月7日（火）	平成24年8月10日（金）
学力試験選抜	平成24年11月1日（木） ～11月7日（水）	平成24年11月20日（火）	平成24年11月26日（月）

Ⅴ 出願書類等

1 出願書類

出願者は、次の書類を在籍（出身）高等学校長を通じて又は個人で提出してください。

書 類 等	説 明	推薦	学力
①編入学願書	本校所定の用紙に、必要事項を本人が記入してください。	◎	◎
②受験票・写真票	最近3か月以内に撮影した上半身無帽の写真を所定欄に貼り付けてください。	◎	◎
③調 査 書	大学入学者選抜実施要項に基づいて、高等学校長が作成し、厳封したもの。	◎	◎
④卒業見込証明書	高等学校長が作成したもの。 既卒者は卒業証明書を提出してください。	◎	◎
⑤推 薦 書	本校所定の用紙に、在籍高等学校長が作成し、厳封したもの。	◎	×
⑥検 定 料	16,500円 振込金受取書を受験票の裏面に必ず貼り付けてください。	◎	◎

VI 推薦による選抜**1 出願資格**

次の各号のいずれにも該当すると在籍高等学校長が認め、推薦する者とします。

- (1) 平成25年 3 月に工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科を卒業見込みの者
- (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者
- (3) 志望学科への入学意志が強く、人物が優れ心身の健全な者

2 選抜の方法

編入学者の選抜は、面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）、推薦書及び調査書等の総合判定により行います。

3 面接の日時及び会場

期 日	時 間	会 場
平成24年 8 月 7 日（火）	10：00～	鶴 岡 工 業 高 等 専 門 学 校

（注）試験当日は受験票を持参し、9時40分までに受付を終了し、所定の控室で待機してください。面接は、個人面接を行います。

4 合格者の発表

平成24年 8 月 10 日（金）午前10時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、本校ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。また、選抜結果通知書及び合格通知書を在籍高等学校長あて送付します。なお、電話等による可否の照会には一切応じられません。

5 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を平成24年 8 月 22 日（水）までに在籍高等学校を経て、本校学生課教務係へ提出してください。

なお、期限までに提出しない者は、推薦選抜の合格を取り消します。

6 入学手続き

入学手続きについては、「入学確約書」を提出した者に、後日通知します。

7 推薦選抜に不合格となった者の取り扱い

推薦による選抜に不合格となった者で、「学力試験による選抜」の受験を希望する者は、この要項の「Ⅶ 学力試験による選抜」の定めるところにより、再度出願の手続きを行ってください。この場合、「調査書」の再提出は不要ですが、検定料は必要となります。

Ⅶ 学力試験による選抜**1 出願資格**

高等学校を卒業した者または平成25年 3 月卒業見込みの者とします。

2 選抜の方法

編入学者の選抜は、学力試験、面接及び調査書を総合判定して行います。

資料 4 - 2 - ① - 9 続き

3 学力試験科目

科目	志望学科	A 方 式 (Ⅲ の 2 参 照)	試験時間	配点	B 方 式 (Ⅲ の 2 参 照)	試験時間	配点
一般 科目	各 学 科 共 通	英語 (英語 I, 英語 II)	60 分	100 点	英語 (英語 I, 英語 II)	60 分	100 点
		数学 (数学 I, 数学 II)	60 分	100 点	数学 (数学 I, 数学 II)	60 分	100 点
専 門 科 目	機 械 工 学 科	機械設計	各 120 分	各 200 点	物理 I	120 分	200 点
	電 気 電 子 工 学 科	電気基礎					
	制 御 情 報 工 学 科	機械設計又は電気基礎 (情報技術を含む。) のいずれかを選択 *					
	物 質 工 学 科	工業化学			化学 I (ただし、問題の一部は、化学 I 又は生物 I のいずれかを選択できます。)	120 分	200 点

注 英語 I, 英語 II, 数学 I, 数学 II, 物理 I, 化学 I (生物 I) の範囲及び程度は、高等学校学習指導要領に記載されている内容です。

* 科目名は同じでも、制御情報工学科独自の試験問題です。

4 学力試験・面接の日時及び会場

期 日	A 方 式		B 方 式		会 場
11月20日 (火)	英 語	9:40～10:40	英 語	9:40～10:40	鶴岡工業高等専門学校
	数 学	11:00～12:00	数 学	11:00～12:00	
	専 門	13:00～15:00	物理 I 又は 化学 I	13:00～15:00	
	面 接	15:20～	面 接	15:20～	

(注 1) 試験当日は受験票を持参し、9 時 20 分までに受付を終了し、所定の控室で待機してください。

(注 2) 学力試験中に使用できる物は、次のとおりです。

筆記用具 (黒鉛筆、シャープペンシル)、鉛筆削り、消しゴム、定規、電卓 (数学の試験の際は使用不可) 及び腕時計

(注 3) 学力試験室に持ち込めない物は、計算機能や英語単語表示機能のある腕時計、携帯電話等の通信機です。

(注 4) 面接は、個人面接を行います。

5 合格者の発表

平成 24 年 11 月 26 日 (月) 午前 10 時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、本校ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。また、選抜結果通知書及び合格通知書を在籍高等学校長あて (既卒業生については本人あて) 送付します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じられません。

資料 4 - 2 - ① - 10

準学士課程編入学生 推薦選抜基本方針(抜粋)

取扱注意

編入学生選抜（推薦）の基本方針

1. 入学者の選抜は、面接（物理・化学を入れた専門科目に関する口頭試問を含む。）及び調査書等の総合判定により行う。

(出典：学生課資料)

資料 4 - 2 - ① - 11

準学士課程編入学生選抜（推薦）面接評価結果表

様式 2

面接調書集計表

志望学科名（物質工学科）

面接責任者氏名

受験番号	評 価				備 考
	人 物	意 志	適 性	計	
	15	15	11	41	

(注) 計欄は、45点満点とする。

(出典：学生課資料)

資料 4 - 2 - ① - 12

準学士課程編入学生選抜（推薦）試験の合否判定

平成24年度第7回運営会議議事要旨（案）

日 時 平成24年8月8日（水） 10:10～10:42

場 所 大会議室

出席者 加藤校長、柳本教務主事、佐藤(浩)寮務主事、宮崎専攻科長（兼 教育研究技術支援センター長）、窪田図書メディアセンター長、竹村総合情報センター長、白野学生支援センター長、内山国際交流支援室長、飯島FD委員会委員長、澤G科長、本橋M科長、佐藤(秀)E科長、吉住I科長、栗野B科長、落合事務部長、黒田学生課長

欠席者 江口学生主事、佐藤（貴）地域共同テクノセンター長、土門総務課長

陪席者 川上総務課課長補佐（総務担当）、山口総務課課長補佐（財務担当）、鈴木学生課課長補佐

議 題

1. 協議事項

（1）平成25年度編入学生選抜（推薦）試験の合否判定について

教務主事から、昨日行われた平成25年度編入学生選抜（推薦）試験について、制御情報工学科4名、物質工学科1名の受験者があった旨報告の後、資料1に基づき、入学試験委員会における合否判定案について、制御情報工学科においては、受験番号1, 2, 3の3名を、物質工学科においては、受験番号11番の1名を、それぞれ合格としたい旨説明があり、審議の結果、原案どおり4名の合格が了承された。
なお、資料1は回収された。

（出典：運営会議議事録）

資料 4 - 2 - ① - 13

準学士課程編入学生選抜（学力）面接評価結果表

様式 2

面接調書集計表

志望学科名（物質工学科）

面接責任者氏名

受験番号	評 価				備 考
	人 物	意 志	適 性	計	
	8	10	10	28	
	7	7	6	20	

（注）計欄は、30点満点とする。

（出典：学生課資料）

準学士課程編入学生選抜（学力）試験の可否判定

平成24年度第11回運営会議議事要旨（案）

日 時 平成24年11月21日（水） 16:05～16:12

場 所 大会議室

出席者 柳本教務主事、江口学生主事、佐藤(浩)寮務主事、宮崎専攻科長（兼 教育研究技術支援センター長）、窪田図書メディアセンター長、竹村総合情報センター長、白野学生支援センター長、飯島FD委員会委員長、本橋M科長、佐藤(秀)E科長、吉住I科長（兼 認証評価委員会委員長）、栗野B科長、落合事務部長、土門総務課長、黒田学生課長

欠席者 加藤校長、佐藤（貴）地域共同テクノセンター長、内山国際交流支援室長、澤G科長、

陪席者 川上総務課課長補佐（総務担当）、山口総務課課長補佐（財務担当）、鈴木学生課課長補佐

議事に先立ち、柳本教務主事から、校長が公務出張のため、議長を代行する旨述べられた。

議 題

1. 協議事項

(1) 平成25年度編入学生選抜（学力）試験の合格判定について

教務主事から、本件について、本会議に先立ち開催された入学試験委員会の審議結果について、資料1に基づき説明の後、次のとおり合格とする旨提案があり、審議の結果、原案どおり4名の合格が了承された。

なお、資料1は回収された。

- ・機械工学科 受験者数2名のうち、受験番号102の1名を合格
- ・電気電子工学科 受験者数2名のうち、受験番号201の1名を合格
- ・制御情報工学科 受験者数1名のうち、合格者なし
- ・物質工学科 受験者数2名のうち、受験番号401、402の2名を合格

以上4名を合格

（出典：運営会議議事録）

平成 26 年度 専攻科生募集要項（抜粋）

平成 26 年度 鶴岡工業高等専門学校専攻科学生募集要項

I 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

1. 科学技術への関心が高く、研究に対して意欲がある人
2. 発想に独自性があり、チャレンジ精神に富んだ人
3. 技術や科学の専門基礎力を有し、より高度で実践的な技術の修得を目指す人

II 募集人員

専 攻	入 学 定 員
機 械 電 気 シ ス テ ム 工 学 専 攻	12名
物 質 工 学 専 攻	4 名

III 選抜方法

1. 高等専門学校長の推薦による選抜
2. 学力試験による選抜
3. 社会人特別選抜

IV 選抜日程

選 抜 区 分	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
高等専門学校長の推薦による選抜	平成25年 5 月13日(月) ～ 平成25年 5 月17日(金)	平成25年 5 月28日(火)	平成25年 5 月31日(金)
学力試験による選抜	平成25年 6 月10日(月) ～ 平成25年 6 月14日(金)	平成25年 7 月17日(水)	平成25年 7 月22日(月)
社会人特別選抜	平成25年 6 月10日(月) ～ 平成25年 6 月14日(金)	平成25年 7 月17日(水)	平成25年 7 月22日(月)

V 高等専門学校長の推薦による選抜

1 出願資格

次の各号のいずれにも該当すると在籍高等専門学校長が認め、推薦する者とします。

- (1) 平成26年3月に高等専門学校を卒業見込みの者
- (2) 本専攻科への入学意志がかたく、特に学業成績が優秀で、人物及び健康共に優れている者

2 出願手続

(1) 願書受付

・受付期間 平成25年5月13日(月)から平成25年5月17日(金)までとします。

郵送の場合も、5月17日(金)必着とします。

(注) 郵送の場合は、必ず「速達書留」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

・受付時間 9時から17時まで

・受付場所 鶴岡工業高等専門学校 学生課
〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104
電話 0235-25-9024・9025

(2) 出願書類等

出願に必要な書類等は、次のとおりです。

① 入学願書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
② 受験票及び写真票	本校所定の用紙に、必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼り付けてください。 写真は、正面向き上半身無帽で、出願3か月以内に撮影したものとします。(縦5cm×横4cm、カラー又は白黒いずれも可)
③ 調査書	本校所定の用紙に、学校長が作成し厳封したものとします。(高等学校から高等専門学校へ編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。)
④ 推薦書	本校所定の用紙に、学校長が作成したものとします。
⑤ 推薦入学志望書	本校所定の用紙に、必要事項を記入し、TOEICスコアシートの写しを添付してください。
⑥ 検定料	16,500円 本校所定の振込用紙により振り込んでください。 なお、出願の際は、振込金受取書を受験票の裏面に必ず貼り付けてください。
⑦ その他	現に日本国内に在住する外国人は、市町村長が発行する「外国人登録証明書」、又は地方入国管理局が発行する「在留カード(写)」を提出してください。

Ⅵ 学力試験による選抜

1 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者としします。ただし、(2)以下の資格で出願する者については、取得単位を確認する必要があるため、あらかじめ本校学生課（0235-25-9024・9025）にお問い合わせください。

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び平成26年3月に卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成26年3月に卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者及び平成26年3月に修了見込みの者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者及び平成26年3月までに修了見込みの者
- (5) その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2 出願手続

(1) 願書受付

- ・受付期間 平成25年6月10日(月)から平成25年6月14日(金)までとします。

郵送の場合も、6月14日(金)必着とします。

(注) 郵送の場合は、必ず「速達書留」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

- ・受付時間 9時から17時まで
- ・受付場所 鶴岡工業高等専門学校 学生課
〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104
電話 0235-25-9024・9025

(2) 出願書類等

出願に必要な書類等は、次のとおりです。

① 入学願書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
② 受験票及び写真票	本校所定の用紙に、必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼り付けてください。 写真は、正面向き上半身無帽で、出願3か月以内に撮影したものとしします。（縦5cm×横4cm、カラー又は白黒いずれも可）

3 選抜の方法

入学者の選抜は、学力試験、TOEIC（公開テスト又はIPテスト）のスコア、面接及び調査書等の総合判定により行います。

4 学力試験、面接の日時及び会場

期 日	科目	時 間	会 場
平成25年 7 月17日(水)	数学	10：20～11：50(90分)	鶴岡工業高等専門学校 (鶴岡市井岡字沢田104)
	専門	13：00～15：00(120分)	
	面接	15：20～	

(注1) 学力試験の問題の水準と出題範囲

問題の水準：数学及び専門科目とも高専卒業程度		
出 題 範 囲		
数 学	専 門 科 目	
普通高校理系の数学及び微積分（偏微分・重積分を含む。）、線形代数、微分方程式	(機械電気システム工学専攻) 材料力学、工業力学、水力学、材料学、電磁気学、電気・電子回路及び論理回路の7分野の中から3分野選択 受験分野を受験票に記入してください。	(物質工学専攻) 分析化学、無機化学、有機化学、物理化学、化学工学、生物化学及び材料化学の7分野の中から5分野選択 受験分野は当日選択してください。

(注2) 試験当日は、10時00分までに受験票を持参の上、本校の指定する場所に集合してください。

(注3) 学力試験中に使用できるものは、次のとおりです。

筆記用具（黒鉛筆、シャープペンシル）、鉛筆削り、消しゴム、定規、電卓（数学の試験の際は使用不可）及び腕時計

(注4) 学力試験室に持ち込めない物は、計算機能や英語単語表示機能のある腕時計、携帯電話等の通信機です。

(注5) 面接は、個人面接を行います。

5 合格者の発表

合格者の発表は、平成25年 7 月22日(月)午前10時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を交付します。

また、本校ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じられません。

6 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を平成25年 7 月29日(月)までに鶴岡工業高等専門学校学生課へ提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

7 入学手続き

入学手続きについては、「入学確約書」提出者に、後日通知します。

資料 4 - 2 - ① - 16

専攻科課程入学生選抜（推薦）面接評価結果表

様式 2

面接調書集計表

志望専攻名（機械電気システム工学専攻）

面接責任者氏名

受験者氏名	評価				備考
	人物	意志	適性	計	
	9	7	7	23	
	9	9	8	26	
	7	8	8	23	
	8	10	8	26	
	9	8	10	27	
	7	7	6	20	

（注）計欄は、30点満点とする。

（出典：学生課資料）

資料 4 - 2 - ① - 17

専攻科課程入学生選抜（推薦）試験の可否判定

平成 24 年度第 3 回運営会議議事要旨（案）

日 時 平成 24 年 5 月 30 日（水） 15:58～16:00

場 所 大会議室

出席者 柳本教務主事、江口学生主事、佐藤(浩)寮務主事、宮崎専攻科長（兼 教育研究技術支援センター長）、窪田図書メディアセンター長、白野学生支援センター長、飯島FD委員会委員長、澤G科長、本橋M科長、佐藤(秀)E科長、吉住I科長、栗野B科長、

欠席者 加藤校長、佐藤（貴）地域共同テクノセンター長、竹村総合情報センター長、内山国際交流支援室長、落合事務部長、土門総務課長、黒田学生課長

陪席者 山口総務課課長補佐（財務担当）、鈴木学生課課長補佐

議事に先立ち、柳本教務主事から、校長が公務出張のため、議長を代行する旨述べられた。

議 題

1. 協議事項

（1）平成 25 年度専攻科入学者選抜（推薦）試験の可否判定について

教務主事から、本件について、資料に基づき、本日開催された入試委員会で審議された可否判定案について、機械電気システム工学専攻 12 名、物質工学専攻 4 名の受験者全員をそれぞれ合格としたい旨説明があり、審議の結果、原案どおり 16 名の合格が承認された。

なお、資料は回収された。

（出典：運営会議議事録）

資料 4 - 2 - ① - 18

専攻科課程入学者選抜（学力）面接評価結果表

様式 2

面接調書集計表

志望専攻名（機械電気システム工学専攻） 面接責任者氏名

受験番号	評価				備考
	人物	意志	適性	計	
	5	5	5	15	
	8	9	8	25	
	8	7	8	23	
	8	8	7	23	
	7	6	7	20	
	8	8	7	23	

（注）計欄は、30点満点とする。

（出典：学生課資料）

資料 4 - 2 - ① - 19

専攻科課程入学生選抜（学力）試験の可否判定

平成24年度第6回運営会議議事要旨（案）

日 時 平成24年7月18日（水） 16:38～16:56

場 所 大会議室

出席者 加藤校長、柳本教務主事、江口学生主事、佐藤(浩)寮務主事、宮崎専攻科長（兼 教育研究技術支援センター長）、佐藤(貴)地域共同テクノセンター長、窪田図書メディアセンター長、竹村総合情報センター長、白野学生支援センター長、内山国際交流支援室長、飯島FD委員会委員長、澤G科長、本橋M科長、佐藤(秀)E科長、吉住I科長、栗野B科長、落合事務部長、土門総務課長、黒田学生課長

陪席者 川上総務課課長補佐（総務担当）、山口総務課課長補佐（財務担当）、鈴木学生課課長補佐

議 題

1. 協議事項

(1) 平成25年度専攻科入学選抜（学力）試験の可否判定について

教務主事から、本件について、昨日行われた平成25年度専攻科入学選抜（学力）試験について、機械電気システム工学専攻では12名（辞退者1名）、物質工学専攻では5名の受験者があった旨報告の後、専攻科会議及び入学試験委員会における審議の結果、機械電気システム工学専攻においては、受験番号102, 104, 105, 107, 108, 109, 110, 111, 112, 113の10名を、物質工学専攻においては、受験番号201, 202, 203, 205の4名、合計14名を合格としたい旨説明があり、審議の結果、原案どおり上記14名の合格が了承された。

なお、資料1は回収された。

(出典：運営会議議事録)

(分析結果とその根拠理由)

本校では、準学士課程の入学者、編入学者、専攻科課程とともに、学力選抜及び推薦選抜により入学者を決定している。全ての入学者選抜は、入試委員会が入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づき作成した「入試業務作業・点検総合マニュアル」に従って実施されている。学力選抜では、数学、理科、国語、英語の基礎力と入学志願者調査書によって、また、推薦選抜では、推薦書、入学志願者調査書（傾斜配点）に基づき、面接により入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に適合した学生であることを確認しており、実際の入学者選抜を適切に実施している。

以上により、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が適切に実施されている。

観点 4－2－②： 入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。

（観点に係る状況）

準学士課程入学生に対し、学習意欲が高く、基礎学力が備わっている学生を受け入れるという方針に基づき、数学、国語、英語の 3 教科について「新入生標準テスト」を入学時に実施し、検証している。その結果、入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）に沿った学生の受入が概ね行われていると分析されている（資料 4－2－②－1～3）。

準学士課程の適正な受入の分析は進級率・卒業率からも検証しており、毎年高い値を示していることから、その適正さが立証されている（資料 4－2－②－4）。専攻科課程については、修了率により、受入が適正であると立証されている（資料 4－2－②－5）。

学習・学校教育目標（F）「論理的表現力と英語力を身につける。」の F－3 項目「英語による表現力を磨き、国際的に通用するコミュニケーション基礎力を身につける。」（資料 4－2－②－6）に照らし合わせ、「TOEICスコア」を推薦基準では300点から330点に上げ、学力試験では英語の判定評価に代用するなど、随時入学者選抜の改善も行われている（資料 4－2－②－7～8）。

新入生標準テスト告知資料

新入生の皆さんへ

鶴岡工業高等専門学校
教 務 主 事

「入学までに勉強しておいてほしいこと」

合格おめでとうございます。

本校への入学を決意された皆さんにおかれましては、高専での勉強や学生生活への期待に大きく胸をふくらませていることと思います。

入学後の学習活動がスムーズに行われるよう、英語、数学の課題を同封しました。

入学までの短い期間ですが、皆さんの努力に期待します。

1. 科 目

(1) 英 語

〈テキスト〉『高校英語入門』 東京書籍（解答なし）

- 例文や傍注をよく読み、解答は上記問題集に記入すること。
- わからない単語は辞書で引くこと。
- P 2 4 の不規則動詞は、完全にかけるようにしておくこと。

(2) 数 学 : 高専での数学の準備のための課題

〈テキスト〉『高校数学へのステップ』東京書籍（解答なし）

- すべての問題をできるだけ自分の力で解いてみよう。
- 解けない問題があったら、中学校の教科書を復習してみよう。
- 難しくてもどうしても解けない問題は、身近な人に聞いても良いが、自分で理解するように努めよう。

2. 英語と数学の課題は、各教科の最初の授業時に授業担当教員へ提出して下さい。

3. 英語と数学の課題教材の代金は、教科書代金に含まれています。

4. 入学直後に、標準テスト（国語・数学・英語）を実施します。

（出典：学生課資料）

資料 4 - 2 - ② - 2

新入生標準テスト評価結果

新入生標準テスト評価結果
学力入学者 推薦入学者別 数学標準テスト成績

年度	項目	機械工学科	電気電子工学科	制御情報工学科	物質工学科	学年平均
平成20年度入学者	クラス平均	86.5	90.7	92.0	90.2	89.8
	学力(人数)	85.5 (24)	89.8 (24)	92.8 (24)	91.1 (24)	89.9 (96)
	推薦(人数)	87.9 (16)	92.0 (16)	90.8 (16)	88.8 (16)	89.8 (64)
平成21年度入学者	クラス平均	92.1	94.3	89.7	91.5	91.9
	学力(人数)	91.8 (26)	95.0 (24)	88.4 (24)	88.8 (24)	91.0 (98)
	推薦(人数)	92.6 (14)	93.1 (16)	91.8 (16)	95.5 (16)	93.3 (62)
平成22年度入学者	クラス平均	90.8	93.0	92.5	89.6	91.4
	学力(人数)	89.3 (24)	93.4 (24)	92.1 (24)	89.5 (24)	91.1 (96)
	推薦(人数)	93.1 (16)	92.3 (16)	93.0 (16)	89.6 (16)	92.0 (64)
平成23年度入学者	クラス平均	91.4	91.2	89.1	89.6	90.3
	学力(人数)	92.2 (24)	90.8 (24)	88.7 (24)	88.7 (24)	90.1 (96)
	推薦(人数)	90.3 (16)	91.7 (16)	89.7 (16)	91.0 (16)	90.7 (64)
平成24年度入学者	クラス平均	91.3	90.8	95.7	92.4	92.5
	学力(人数)	91.5 (24)	88.6 (24)	94.9 (24)	91.1 (24)	91.6 (96)
	推薦(人数)	90.9 (16)	94.1 (16)	96.9 (16)	94.4 (16)	93.9 (64)

新入生標準テスト英語平均点

年度	項目	機械工学科	電気電子工学科	制御情報工学科	物質工学科	学年平均
平成20年度入学者	クラス平均	71.3	73.7	76.4	68.4	72.5
平成21年度入学者	クラス平均	74.7	77.4	77.4	75.2	76.2
平成22年度入学者	クラス平均	75.0	73.7	78.2	72.7	74.9
平成23年度入学者	クラス平均	72.0	77.5	75.7	71.2	74.1
平成24年度入学者	クラス平均	79.0	76.0	80.9	79.2	78.8

資料 4－2－②－2 続き

新入生標準テスト国語平均点

年度	項目	機械工学科	電気電子工学科	制御情報工学科	物質工学科	学年平均
平成20年度入学者	クラス平均	55.2	54.7	59.7	57.0	56.6
平成21年度入学者	クラス平均	58.1	58.6	58.7	57.5	58.2
平成22年度入学者	クラス平均	52.8	57.1	59.6	58.4	57.0
平成23年度入学者	クラス平均	56.7	57.1	59.9	57.7	57.9
平成24年度入学者	クラス平均	62.0	57.4	60.8	60.9	60.3

(出典：学生課資料)

資料 4－2－②－3

標準テストの結果について
教員会議議事概要（抜粋）

平成 24 年度第 3 回教員会議議事概要

日 時 平成 24 年 6 月 13 日（水） 15:50～17:30

場 所 大会議室

出席者 校長ほか教員 44 名、事務部長ほか職員 5 名

開始に先立ち、校長から、今回の教員会議は、校長、副校長、FD委員長、担任との連絡協議会並びに新任（若手）教員研修として実施する旨述べられた。

話 題

1. 新入生の学力変遷と 3 年到達度試験結果について

上松教務主事補から、本件について、資料に基づき説明があった。

教員会議資料（抜粋）

『新入生の学力変遷と 3 年到達度試験の結果について』

教務主事補 上松和弘

1. 新入生標準テストの成績の推移

- ・ 漸減傾向にあった。ここ最近はやや横ばい。平成 24 年度は上昇。
- ・ 推薦入学者の方が、学力入学者よりわずかながら、成績が良い。
- ・ 最近はやや平均的には制御の学生の成績がよい。（年度によって変動あり。）

(出典：学生課資料)

資料 4 - 2 - ② - 4

準学士課程の進級率・卒業率

準学士課程の進級率・卒業率一覧

年度	項目	M	E	I	B	合計	進級率	卒業率
平成20年度 (H21.3.31) 卒業者	入学時(H16.4.1)人数	40	40	43	41	164		
	H16年度判定 1→2	40	40	43	40	163	99.4%	
	H17年度判定 2→3	40	40	42	38	160	97.6%	
	H18年度判定 3→4	38	40	40	36	154	93.9%	
	H19年度判定 4→5	38	40	40	36	154	93.9%	
	卒業者数	37	40	40	36	153		93.3%
平成21年度 (H22.3.31) 卒業者	入学時(H17.4.1)人数	40	40	40	41	161		
	H17年度判定 1→2	39	40	40	39	158	98.1%	
	H18年度判定 2→3	39	39	39	38	155	96.3%	
	H19年度判定 3→4	37	37	39	37	150	93.2%	
	H20年度判定 4→5	36	37	36	35	144	89.4%	
	卒業率	36	36	36	34	142		88.2%
平成22年度 (H23.3.31) 卒業者	入学時(H18.4.1)人数	40	40	40	41	161		
	H18年度判定 1→2	40	40	39	41	160	99.4%	
	H19年度判定 2→3	40	40	38	39	157	97.5%	
	H20年度判定 3→4	39	40	38	37	154	95.7%	
	H21年度判定 4→5	38	38	37	36	149	92.5%	
	卒業者数	38	37	37	36	148		91.9%
平成23年度 (H24.3.31) 卒業者	入学時(H19.4.1)人数	40	40	40	40	160		
	H19年度判定 1→2	40	39	40	40	159	99.4%	
	H20年度判定 2→3	40	38	40	40	158	98.8%	
	H21年度判定 3→4	40	37	38	39	154	96.3%	
	H22年度判定 4→5	39	35	33	38	145	90.6%	
	卒業者数	39	34	33	38	144		90.0%
平成24年度 (H25.3.31) 卒業者	入学時(H20.4.1)人数	40	40	40	40	160		
	H20年度判定 1→2	39	40	40	40	159	99.4%	
	H21年度判定 2→3	39	40	40	40	159	99.4%	
	H22年度判定 3→4	39	39	40	40	158	98.8%	
	H23年度判定 4→5	38	37	36	34	145	90.6%	
	卒業者数	38	37	36	34	145		90.6%

(出典：学生課資料)

資料 4－2－②－5

専攻科課程の修了率

専攻科課程の修了率一覧

年度	項目	機械電気システム工学専攻	物質工学専攻	合計
平成20年度修了者	現員(年度末)	12	6	18
	修了者数	12	6	18
	修了率	100%	100%	100%
平成21年度修了者	現員(年度末)	19	7	26
	修了者数	19	7	26
	修了率	100%	100%	100%
平成22年度修了者	現員(年度末)	21	8	29
	修了者数	19	8	27
	修了率	90%	100%	93%
平成23年度修了者	現員(年度末)	23	7	30
	修了者数	23	7	30
	修了率	100%	100%	100%
平成24年度修了者	現員(年度末)	20	8	28
	修了者数	20	7	27
	修了率	100%	88%	96%

(出典：学生課資料)

専攻科課程 学習・教育目標と到達目標

◎専攻科課程

養成する人材像

幅広い知識を統合した構想力や対応力に優れ、国際的に活躍できるコミュニケーション力を身につけた実践的開発型技術者。

学習・教育目標と具体的な到達目標

(A) 知識を統合し多面的に問題を解決する構想力を身につける。

A-1 多様な解をもつ課題に対して、工学的知識・技術を統合し、創造性を発揮して適切な解決策を示すことができる。

A-2 地域社会が求める技術的課題に対して、科学・技術、情報などあらゆる知識を統合し、実現性のある解決策を示すことができる。

(B) 地球的視野と技術者倫理を身につける。

B-1 広い教養と視野をもち、地球環境や国際間の異なる文化や歴史的背景を理解できる。

B-2 技術が人間社会や環境に及ぼす影響や効果を理解し、技術者が社会や企業において果たすべき責任を自覚できる。

(C) 数学、自然科学の基礎学力と実験・実習による実践力を身につける。

C-1 工学的な問題の解析や説明に必要な数学、物理学の知識および地球環境に関わる生物、地学、化学関係の知識を身につける。C-2 実験・実習を通じて現象を経験的に学び、実験結果に対する理論との比較や考察ができる。

C-2 実験・実習を計画的に遂行し、データを解析して、実験結果に対する理論との比較や考察あるいは説明ができる。

(D) 工学の基礎学力と情報技術を身につける。

D-1 共通基盤技術である基礎工学の知識を身につける。

D-2 技術の深化や進展への対応に必要な専門基礎工学を身につける。

D-3 情報技術の仕組みを理解し、情報検索、データ解析、プログラミング等の能力を身につける。

(E) 一つの得意専門分野をもち、生産技術に関する幅広い対応能力を身につける。

E-1 機械系、電気・電子系、応用化学系の専門分野から得意分野の学士の学位を取得する。

E-2 融合複合科目を修得し、機械および電気電子分野の対応能力や品質管理技術を身につける。

(F) 論理的表現力と英語力を身につける。

F-1 論理的に記述、発表、討論する国語力を磨き、適切なレポートや論文が書ける。

F-2 学内外の研究発表会において、論理的で説得力のある発表や質疑応答ができる。

F-3 英語による表現力を磨き、国際的に通用するコミュニケーション基礎力を身につける。

(G) 計画的、継続的、客観的な問題解決能力を身につける。

G-1 継続的に広く学び、自主的に問題解決を図ることができる。

G-2 実施計画を立て実行結果を逐次記録・評価して進捗の自己管理ができる。

(出典：平成25年度シラバス，p. 2)

資料 4-2-②-7

平成24年度 第1回入学試験委員会・教務委員会議事録（抜粋）

平成24年度第1回入学試験委員会・教務委員会議事概要

日 時 平成24年3月30日（金）

13時30分～14時50分

場 所 大会議室

出席者 柳本委員長，江口，佐藤（浩），宮崎，本橋，佐藤（秀），栗野，
田中，神田，南の各委員，事務部長
欠席者 澤，吉住，上松の各委員，学生課長

議 題

1 平成25年度大学編入及び専攻科推薦基準の確認

委員長から資料に基づき説明があり、次の点について確認の上、了承された。

- ・ 専攻科入試の際のTOEICの推薦基準については、平成25年度入試（新5年生受験）については300点、平成26年度入試（新4年生受験）については330点とする。

2 平成25年度専攻科学生募集要項（案）について

委員長から、要項（案）に基づき説明があり、次の点について確認の上、了承された。

- ・ 面接・監督の割り振りの関係から、次年度から、推薦入試と学力入試の曜日が重複しないよう設定する。
- ・ 今年度の推薦入試の出願期間は、TOEICの成績決定時期を考慮して、決定する。
- ・ 受験する専門科目については、機械電気システム工学専攻については出願時に選択、物質工学専攻については当日選択させる。
- ・ 新たに「推薦入学志望書」の様式を募集要項に追加する。

3 平成25年度専攻科推薦入試実施要領（案）について

委員長から、資料に基づき説明があり、次の点を修正の上、了承された。

【受入数】

- (2) 推薦と学力入試の結果、定員（社会人特別選抜を含む。）に満たなかった場合は、後期に2次募集を行う。

【推薦選抜】

- (3) （略） 他高専からの推薦志願者があった場合は、志願者全員の4年次調査書成績、TOEIC得点、面接評価を定量化して総合得点で合否を決定する。各専攻の推薦枠は、原則ME専攻12名、CB専攻4名とする。

【学力試験】

- (3) 物質工学専攻における数学の試験問題の扱いは、5月中旬までCB専攻で検討する。
- (4) 学力試験問題と解答例をHPにて公開するため、問題ミス、著作権に注意を払う。

以上

（出典：学生課資料）

専攻科学生選抜方法について（抜粋）

3 選抜の方法

入学者の選抜は、学力試験、TOEIC（公開テスト又はIPテスト）のスコア、面接及び調査書等の総合判定により行います。

4 学力試験、面接の日時及び会場

期 日	科目	時 間	会 場
平成25年 7 月17日(水)	数学	10：20～11：50(90分)	鶴岡工業高等専門学校 (鶴岡市井岡字沢田104)
	専門	13：00～15：00(120分)	
	面接	15：20～	

（注1） 学力試験の問題の水準と出題範囲

問題の水準：数学及び専門科目とも高専卒業程度		
出 題 範 囲		
数 学	専 門 科 目	
普通高校理系の数学及び微積分（偏微分・重積分を含む。）、線形代数、微分方程式	（機械電気システム工学専攻） 材料力学、工業力学、水力学、材料学、電磁気学、電気・電子回路及び論理回路の7分野の中から3分野選択 受験分野を受験票に記入してください。	（物質工学専攻） 分析化学、無機化学、有機化学、物理化学、化学工学、生物化学及び材料化学の7分野の中から5分野選択 受験分野は当日選択してください。

（注2） 試験当日は、10時00分までに受験票を持参の上、本校の指定する場所に集合してください。

（出典：平成26年度 専攻科学生募集要項，p. 7）

（分析結果とその根拠理由）

準学士課程入学生に対し、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った入学選抜が実際に行われているかを「新入生標準テスト」、受入学生の進級率・卒業率等で検証を行った結果、入学者受入に問題はなかった。また、推薦選抜については、調査書の傾斜配点によって、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が反映されるようにしている。

専攻科課程については、修了率から受入の適正さを判断している。入学者選抜において「TOEICスコア」を合格判定の基準の一つに代用するなど随時改善を行ってきている。

以上により、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てている。

観点 4-3-①： 実入学者数が，入学定員を大幅に超える，又は大幅に下回る状況になっていないか。また，その場合には，これを改善するための取組が行われるなど，入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

（観点に係る状況）

準学士課程については，本校学則において，その入学定員は各学科40名と定めている（資料 4-3-①-1）。過去5年間に実入学者が学科定員を超えたことも下回ったこともない（資料 4-3-①-2）。

専攻科課程について，本校学則において，機械電気システム工学専攻12名，物質工学専攻4名の入学定員を定めている（資料 4-3-①-3）。専攻科課程の志願者数，入学者数については，定員割れを起こしたことはない（資料 4-3-①-4）。定員を上回って受け入れた年度もあるが，各専攻とも講義，実習，専攻科課程の研究指導への支障がないことを確認しており（資料 4-3-①-5），専攻科課程修了率からもそれは立証されている（資料 4-2-②-5 参照）。

資料 4-3-①-1

鶴岡工業高等専門学校学則（抜粋）

第3章 学科，学級数，入学定員及び教職員組織

（学科，学級数及び入学定員）

第7条 学科，学級数及び入学定員は，次のとおりとする。

学 科	学 級 数	入 学 定 員
機 械 工 学 科	1	40人
電 気 電 子 工 学 科	1	40人
制 御 情 報 工 学 科	1	40人
物 質 工 学 科	1	40人

（出典：規程集）

資料 4－3－①－2

準学士課程入学者数の状況

準学士課程の入学者数の状況

年度	項目	機械工学科	電気電子工学科	制御情報工学科	物質工学科	合計
平成20年度入学者	定 員	40	40	40	40	160
	志願者数	46	58	66	44	214
	受験者数	45	58	66	44	213
	入学者数	40	40	40	40	160
	志願倍率	1.15	1.45	1.65	1.10	1.34
平成21年度入学者	定 員	40	40	40	40	160
	志願者数	51	55	71	66	243
	受験者数	51	55	70	65	241
	入学者数	40	40	40	40	160
	志願倍率	1.28	1.38	1.78	1.65	1.52
平成22年度入学者	定 員	40	40	40	40	160
	志願者数	64	52	74	46	236
	受験者数	64	52	74	46	236
	入学者数	40	40	40	40	160
	志願倍率	1.60	1.30	1.85	1.15	1.48
平成23年度入学者	定 員	40	40	40	40	160
	志願者数	45	65	43	48	201
	受験者数	45	65	43	48	201
	入学者数	40	40	40	40	160
	志願倍率	1.13	1.63	1.08	1.20	1.26
平成24年度入学者	定 員	40	40	40	40	160
	志願者数	64	66	68	58	256
	受験者数	64	66	68	58	256
	入学者数	40	40	40	40	160
	志願倍率	1.60	1.65	1.70	1.45	1.60

(出典：学生課資料)

資料 4 - 3 - ① - 3

鶴岡工業高等専門学校学則（抜粋）

第39条 専攻科の専攻及び入学定員は、次のとおりとする。

専 攻	入学定員
機械電気システム工学専攻	12人
物 質 工 学 専 攻	4人

（出典：規程集）

資料 4 - 3 - ① - 4

専攻科入学者数の推移

専攻科課程の入学者数の推移

年度	項目	機械電気システム工学専攻	物質工学専攻	合計
平成20年度 専攻科入学者	定 員	12	4	16
	志願者数	20	8	28
	受験者数	20	8	28
	入学者数	19	7	26
平成21年度 専攻科入学者	定 員	12	4	16
	志願者数	26	9	35
	受験者数	26	9	35
	入学者数	21	8	29
平成22年度 専攻科入学者	定 員	12	4	16
	志願者数	26	8	34
	受験者数	26	8	34
	入学者数	21	7	28
平成23年度 専攻科入学者	定 員	12	4	16
	志願者数	28	10	38
	受験者数	28	10	38
	入学者数	20	8	28
平成24年度 専攻科入学者	定 員	12	4	16
	志願者数	25	9	34
	受験者数	24	9	33
	入学者数	21	8	29

（出典：学生課資料）

資料 4－3－①－5

入試申し合わせならびに実施要項について（抜粋）

H 2 5 年 4 月 2 4 日

平成 2 6 年度入試申し合せならびに実施要領について（抜粋）

【受入数】

- (1) 専攻科受け入れ最大人数は、各専攻で 2 倍を越えない（社会人特別選抜を含まない）ものとする。
- (2) 推薦と学力入試の結果、定員（社会人特別選抜を含む）に満たなかった場合は、後期に 2 次募集を行う。

（出典：学生課資料）

（分析結果とその根拠理由）

準学士課程の入学学生については、実入学学生が入学定員を超えたことも下回ったこともない。

専攻科課程の入学学生についても、定員を上回って受け入れた年度もあるが、各専攻とも講義、実習、専攻科課程の研究指導への支障がないことを確認している。

以上により、準学士課程及び専攻科課程の入学定員と実入学学生数との関係の適正化が図られている。

（2）優れた点及び改善を要する点

（優れた点）

準学士課程及び専攻科課程の入学学生選抜に対する入学学生受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められており、教職員や将来の学生を含めた社会に広く公表され、周知されている。また、入学学生受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生の受入状況を検証するための取組が行われており、その結果を入学学生選抜の改善に役立てている。

（改善を要する点）

特になし

（3）基準 4 の自己評価の概要

本校の教育目的、教育目標に沿って、準学士課程及び専攻科課程の入学学生選抜に対する入学学生受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められており、学校の各種資料及び本校ウェブページに明記されて、教職員や将来の学生を含めた社会に広く公表され、周知されている。

準学士課程入学学生に対し、入学学生受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った入学選抜が実際に行われているかを「新入生標準テスト」、受入学生の進級率・卒業率等で検証を行った結果、入学学生受入に問題はなかった。また、推薦選抜については、調査書の傾斜配点によって、入学学生受入方針（アドミッション・ポリシー）が反映されるようにしている。

専攻科課程については、修了率から受入の適正さを判断している。入学学生選抜において「TOEICスコア」を合格判定の基準の一つに代用するなど随時改善を行ってきている。

以上のことから、本校では、入学学生受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生の受入状

況を検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てている。

準学士課程の入学者については、実入学者が入学定員を超えたことも下回ったこともない。

専攻科課程の入学者についても、定員を上回って受け入れた年度もあるが、各専攻とも講義、実習、専攻科課程の研究指導への支障がないことを確認している。準学士課程及び専攻科課程の入学定員と実入学者数の関係は、適正である。